

## 第3学年 技術家庭科 技術分野

### 学習教材および学習の進め方

使用教材	技術・家庭[技術分野]（開隆堂） ハンドノート [技術分野]（正進社） 計測制御プログラマー プログラム用ソフトウェア	持ち物	教科書 ハンドノート 筆記用具 ファイル
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> 実習の授業では「なぜこのようなプログラムになるのか」を考えながら作業しよう 座学の授業では先生の発言やクラスの友達の発表をメモしておくようにしよう 自分の考えだけでなく友達や先生の意見も取り入れながらプログラミングをしよう  <家庭学習では> ハンドノートをよく見返して情報に関する学習内容を復習しておこう  <定期テストでは> 教科書とハンドノートをしっかりと見直して、技術に関する様々な語句や 工具の使い方を復習しておこう  <学び合いについて> 作業で困ったことがあったときは、まずグループの友達に聞いてみよう。 ひとつの作業を二人で協力して進める場合もある		
学習上の注意	移動教室でもベル黙をしっかりと守る 毎回ファイルと教科書は必ず持ってくるようにする 集中して作業に取り組むようにする 先生の話や友達と話し合うとき、作業をするとき、今がどの時間なのかを意識して気を抜かないようにする		

学習内容および評価規準

学習内容および評価規準			評価の観点 評価の方法（見取り）			
一 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報とわたしたちの生活</li> <li>情報通信ネットワークの利用</li> <li>情報通信ネットワークと情報セキュリティ</li> </ul>	期末	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報に関する知識が身に付き、活用できている。</li> <li>適切にプログラミングを行い、目的に沿った作品づくりをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>テスト</li> </ul>
	5					
	6					
二 学 期	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータと情報処理</li> <li>プログラムによる計測と制御</li> </ul>	期末	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの生活と技術との関わりについて考え、自分なりの工夫を凝らすことができる。</li> <li>情報処理の手順を具体化する力を身につけている。</li> <li>「技術の見方・考え方」を働かせ、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身につけている。</li> <li>効率的なプログラムのために構造などを工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>テスト</li> <li>ハンドノート</li> </ul>
	9					
	10					
	11					
三 学 期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータと情報処理</li> <li>プログラムによる計測と制御</li> <li>情報に関する技術の評価と活用</li> </ul>		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>自らの問題解決を振り返り、よりよいものになるように改善・修正しようとしている。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>課題への取り組み</li> <li>ハンドノート</li> </ul>
	1					
	2					
	3					